大島商船高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	船舶整備論

科目基礎情報

科目番号	0068	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	3
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	基本 運用術【二訂版】		
担当教員	中村 泰裕,浦田 数馬		

到達目標

1,船体各部名称・寸法・喫水について説明できる。
2,船の主要設備と属具の使用方法、整備方法を理解できる。
3,船体防錆施工方法及び、塗料を説明できる。
4,入渠作業及び、船舶検査について理解できる。
5,排水トン数の計算ができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	説明できる。	理解している。	理解していない。
評価項目2	使用方法、整備方法を理解している。	使用方法、整備方法をある程度理解している。	使用方法、整備方法を理解していない。
評価項目3	説明できる。	理解している。	理解していない。
評価項目4	入渠作業・検査について理解している。	入渠作業・検査についてある程度理解している	入渠作業・検査について理解していない。
評価項目5	排水トン数の計算ができる。	排水トン数の計算の意味を理解している。	排水トン数の計算ができない。

学科の到達目標項目との関係

本校 (1)-a 商船 (2)-c

教育方法等

概要	船舶整備論(運用)を開講する。
授業の進め方・方法	授業は校内練習船(大島丸)教室で行い、机上の講義に続き・実演を交える。
注意点	・実務関連の内容が第一となるので、必ず習得し船舶関連の職業に就いた場合は即実施できるようにしておくこと。 ・やむを得ない状況で欠席する場合は必ず申し出ること。 ・授業中のノートメモを取る。 ・この科目は、船員養成三級海技士(航海)の指定教科である。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	各部の名称・構造様式	
		2週	喫水標の標識・喫水の修正	喫水標を読取ることができる。読取った喫水標より各種修正を行い平均喫水の算出ができる。
		3週	錨・錨鎖	錨の各名称・錨索の各名称が説明できる。使用方法についても説明ができる。
		4週	舵と操舵装置	舵・操舵装置について名称を理解している。
		5週	救命設備・消防設備	救命設備・消防設備について物品名称と使用方法を理解している。
		6週	船体の保存と手入れ	船体の錆び打ち方法・防錆方法を理解している。
		7週	入渠作業・出渠作業	入渠・ドライアップ・直ぐに行わなければならない作業等について理解している。浮上前の最終点検項目について理解している。
		8週	後期中間試験	後期中間試験
	4thQ	9週	船体塗料について	船底塗料について理解している。
		10週	定期検査・中間検査・臨時検査等の各検査	船舶の各種検査について理解している。
		11週	船舶用索具	船舶の索具(繊維索・鋼索)・テークル等について理解している。
		12週	操船性能に関する基礎知識	操船性能について理解している。
		13週	操船性能に関する基礎知識	操船性能について理解している。
		14週	港内操船と停泊法	岸壁接岸・錨泊法について理解している。
		15週	航海当直と船舶通信	入出港作業・航海中の当直勤務・BRMにて理解している。
		16週	学年末試験	学年末試験

評価割合

	試験	提出物	授業参加度	合計
総合評価割合	90	5	5	100
	90	5	5	100